

D ドライブライン / アクスル

FAX フロントアクスル・ドライブシャフト

2WD			
作業上の注意	2	準備品	7
・注意	2	・特殊工具	7
フロントホイールハブ及びナックル	3	フロントホイールハブ及びナックル	9
・車載上の点検	3	・車載上の点検	9
・取り外し、取り付け	3	・取り外し、取り付け	9
サービスデータ	5	・分解、組み立て	11
・ホイールベアリング	5	フロントドライブシャフト	13
・ボールジョイント	5	・取り外し、取り付け	13
		・分解、組み立て	15
4WD		サービスデータ	20
作業上の注意	6	・ホイールベアリング	20
・注意	6	・ボールジョイント	20
		・ドライブシャフト (Z80T70C)	20
		・ドライブシャフト (Z80T82F)	20
		・締付トルク	20

A

B

C

FAX

E

F

G

H

I

J

K

L

作業上の注意

PFP:00001

注意

JDS001X0

- ラバーブッシュ類の最終締め付けは、車両接地後、空車状態で行う。また、オイルの付着はラバーブッシュ類の耐久性を低下させるので必ず拭きとること。
- 空車状態とは、燃料満載、冷却水及び潤滑油が運行に必要な整備をした状態である。ただし、スペアタイヤ、ジャッキ、車載工具は、車両より降ろした状態にしておくこと。
- サスペンション部品を整備したときは、必ずホイールアライメントを点検する。

フロントホイールハブ及びナックル

FPF:40202

車載上の点検

JDS001XP

フロントアクスルに異常な遊び、割れ、摩耗やその他損傷がないか点検する。

- フロントホイール（左右）を動かし、遊びを点検する。
- アクスルの全てのナット、ボルトは指定トルクで締め付ける。

フロントホイールベアリング

リフトアップなどの状態で、次の点検を行う。

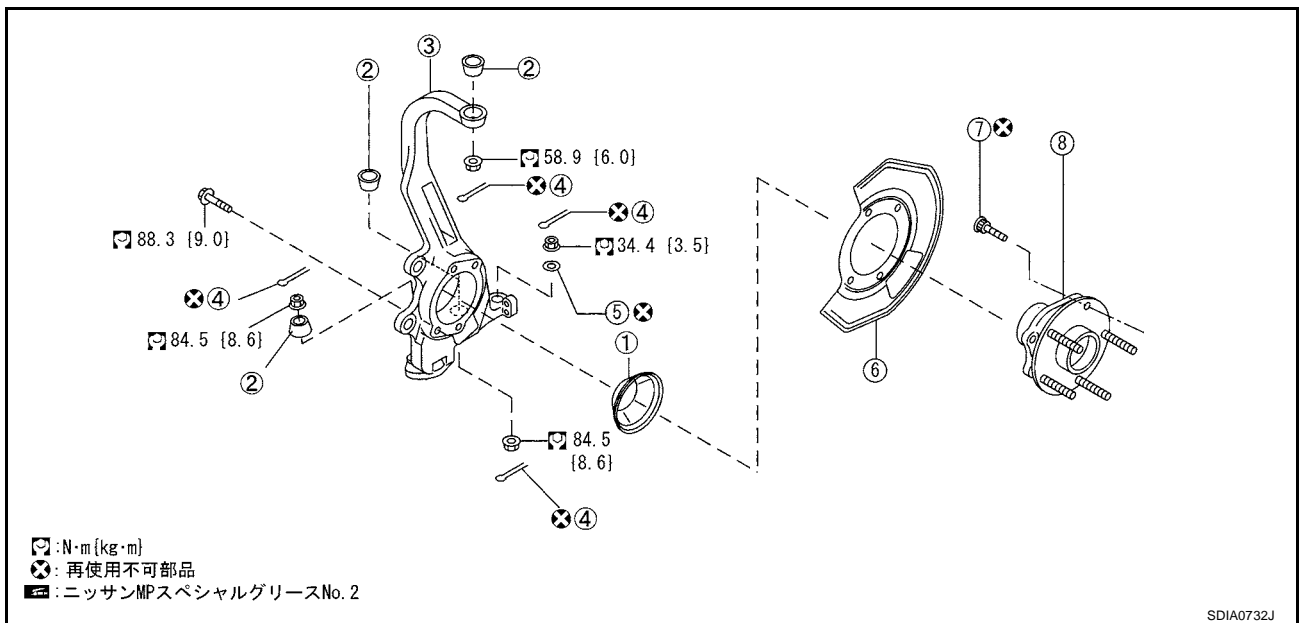
- ホイールハブを手で軸方向に動かし、フロントホイールベアリングにガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー : 0 ~ 0.05 mm

- ホイールハブを回転させて異音等がないかを点検する。異常がある場合は、ホイールベアリング ASSY を交換する。

取り外し、取り付け

JDS001XQ



- | | | |
|-----------|-----------------|--------------------|
| 1. ハブキャップ | 2. ボールシート | 3. ナックルステアリング ASSY |
| 4. コッターピン | 5. ワッシャー | 6. スブラッシュガード |
| 7. ハブボルト | 8. ハブベアリング ASSY | |

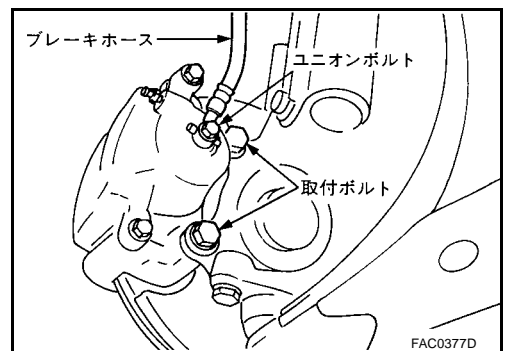
取り外し

1. タイヤ及びブレーキキャリパーを取り外し、ブレーキキャリパーをじゃまにならない所へ吊るしておく。

注意： ブレーキキャリパーを外している間は、ブレーキペダルを踏まないこと。

2. ディスクローターを取り外す。
3. アウターソケットボールジョイント部のコッターピンを外し、アウターソケットロックナットを取り外す。
4. ボールジョイントリムーバー（汎用工具）を用いて、ボールジョイントのブーツを破かないようにアウターソケットをナックルステアリング ASSY から取り外す。

注意： ボールジョイントリムーバー（汎用工具）が急激に外れる恐れがあるのでロックナットを仮付けしておくこと。



5. アッパーリンク、トランスバースリンク及びコンプレッションロッドとナックルステアリング ASSY との締結ナット及びコッターピンを取り外す。
6. ボールジョイントリムーバー（汎用工具）を用いて、ボールジョイントのブーツを破かないようにアッパーリンク、トランスバースリンク及びコンプレッションロッドをナックルステアリング ASSY から取り外す。
注意： ボールジョイントリムーバー（汎用工具）が急激に外れる恐れがあるのでロックナットを仮付けしておくこと。
7. ハブベアリングボルトを緩める。
8. ハブベアリング ASSY をナックルステアリング ASSY から取り外す。

取り外し後の点検

目視点検

トランスバースリンク及びブッシュに、変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はトランスバースリンク ASSY で交換する。

ボールジョイントの点検

注意： 測定前に 10 回以上手で動かし、ボールジョイントをなじませてから行うこと。

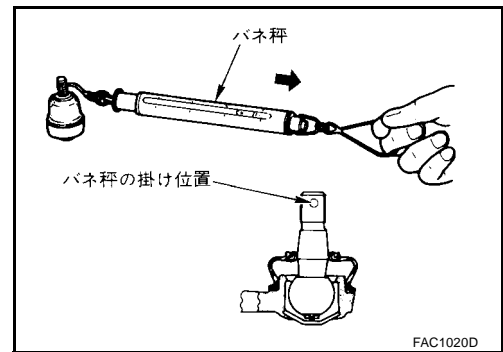
よう動トルク点検

- バネ秤をコッターピン取付穴に掛け、ボールスタッドが動き始めたときのバネ秤の測定値が基準値内にあるか点検する。

よう動トルク : 0.147 ~ 1.40N·m { 0.02 ~ 0.14kg·m }

バネ秤の測定値 : 2.23 ~ 21.2N { 0.23 ~ 2.10kg }

- 基準値を外れる場合は、ナックルステアリング ASSY を交換する。

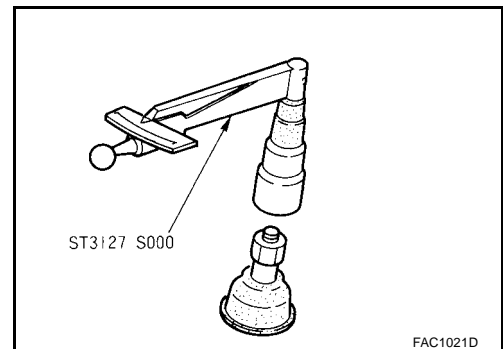


しゅう動トルク点検

- 取付ナットをボールスタッドに取り付け、プリロードゲージ（特殊工具）を用いて、しゅう動トルクが基準値内にあるか測定する。

しゅう動トルク : 0.147 ~ 1.40N·m { 0.02 ~ 0.14kg·m }

- 基準値を外れる場合は、ナックルステアリング ASSY を交換する。



軸方向エンドプレー点検

- ボールジョイントの先端を軸方向に押し、ガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー : 0mm

- ガタがある場合は、ナックルステアリング ASSY を交換する。

取り付け

- 各締付トルク等については構成図「[取り外し、取り付け](#)」(FAX-3 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

注意： 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。

サービスデータ
ホイールベアリング

PFP:00030

JDS001XR

軸方向エンドプレー	0 ~ 0.05mm
-----------	------------

ボールジョイント

JDS001XS

取付位置	ナックルステアリング ASSY
よう動トルク	0.147 ~ 1.4N·m { 0.02 ~ 0.14kg·m }
パネ秤の測定値 (コッターピン穴位置)	2.23 ~ 21.2N { 0.23 ~ 2.10kg }
しゅう動トルク	0.147 ~ 1.4N·m { 0.02 ~ 0.14kg·m }
軸方向エンドプレー	0mm

A

B

C

FAX

E

F

G

H

I

J

K

L

作業上の注意

PFP:00001

注意

JDS001XT

- ラバーブッシュ類の最終締め付けは、車両接地後、空車状態で行う。また、オイルの付着はラバーブッシュ類の耐久性を低下させるので必ず拭きとること。
- 空車状態とは、燃料満載、冷却水及び潤滑油が運行に必要な整備をした状態である。ただし、スペアタイヤ、ジャッキ、車載工具は、車両より降ろした状態にしておくこと。
- サスペンション部品を整備したときは、必ずホイールアライメントを点検する。

準備品
特殊工具

PF0:00002

JDS00210

A

B

C

FAX

E

F

G

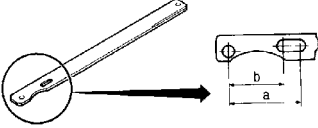
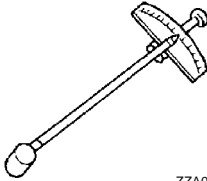
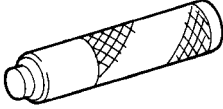
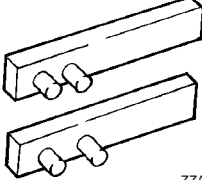
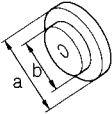
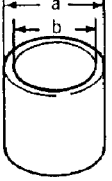

H

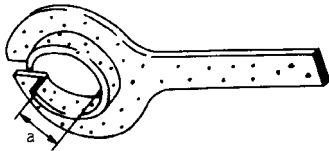
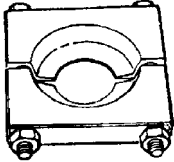
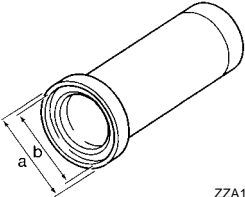
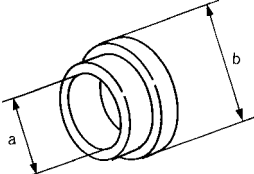
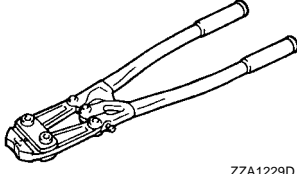
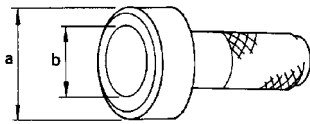
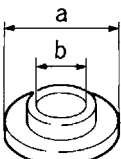
I

J

K

L

名称	用途
<p>ハブロックナットレンチ KV401 04000 a:φ85mm b:φ65mm</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0802D</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハブロックナット脱着 ドライブシャフト脱着
<p>プリロードゲージ ST3127 S000</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0503D</p>	<p>プリロードトルク測定</p>
<p>ドリフト ST3325 1000</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0982D</p>	<p>ホイールハブ取り外し</p>
<p>ダミーシャフトストッパー ST3121 3000 ST3185 2000</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0983D</p>	<p>ホイールハブ取り外し</p>
<p>ドリフト ST3302 2000 a: 67mm b: 51mm</p>  <p style="text-align: center;">ZZA1051D</p>	<p>ホイールハブ取り付け</p>
<p>ドリフト KV401 05310 a: 89.1mm b: 80.7mm</p>  <p style="text-align: center;">ZZA0832D</p>	<p>ホイールハブ及びセンサーローター取り付け</p>
<p>4WD 用 FD 脱着アタッチメント KV4010 7500</p>  <p style="text-align: center;">ZZA1230D</p>	<p>ドライブシャフト取り外し</p>

名称	用途
<p>プロテクター KV381 07800 a:φ29mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0835D</p>	<p>ドライブシャフト取り付け</p>
<p>ベアリングリプレサー ST3002 1000</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0700D</p>	<p>ダストシール取り外し</p>
<p>ドリフト KV381 01700 a: 82mm b: 78mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA1149D</p>	<p>センサーローター及びダストシールド 取り付け</p>
<p>ホイールベリングプーラー KV401 01840 a:φ67mm b:φ85mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA1113D</p>	<p>ダストシール取り付け</p>
<p>ブーツバンドカシメ工具 KV4010 7300</p>  <p style="text-align: right;">ZZA1229D</p>	<p>ブーツバンド取り付け</p>
<p>ドリフト KV381 00500 a: 80mm b: 60mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0701D</p>	<p>プラグ取り付け</p>
<p>ドリフト KV381 02200 a:φ90mm b:φ31mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0920D</p>	<p>プラグ取り付け</p>

フロントホイールハブ及びナックル

PF0:40202

車載上の点検

JDS0021P

フロントアクスルに異常な遊び、割れ、摩耗やその他損傷がないか点検する。

- フロントホイール（左右）を動かし、遊びを点検する。
- アクスルの全てのナット、ボルトは指定トルクで締め付ける。

フロントホイールベアリング

リフトアップなどの状態で、次の点検を行う。

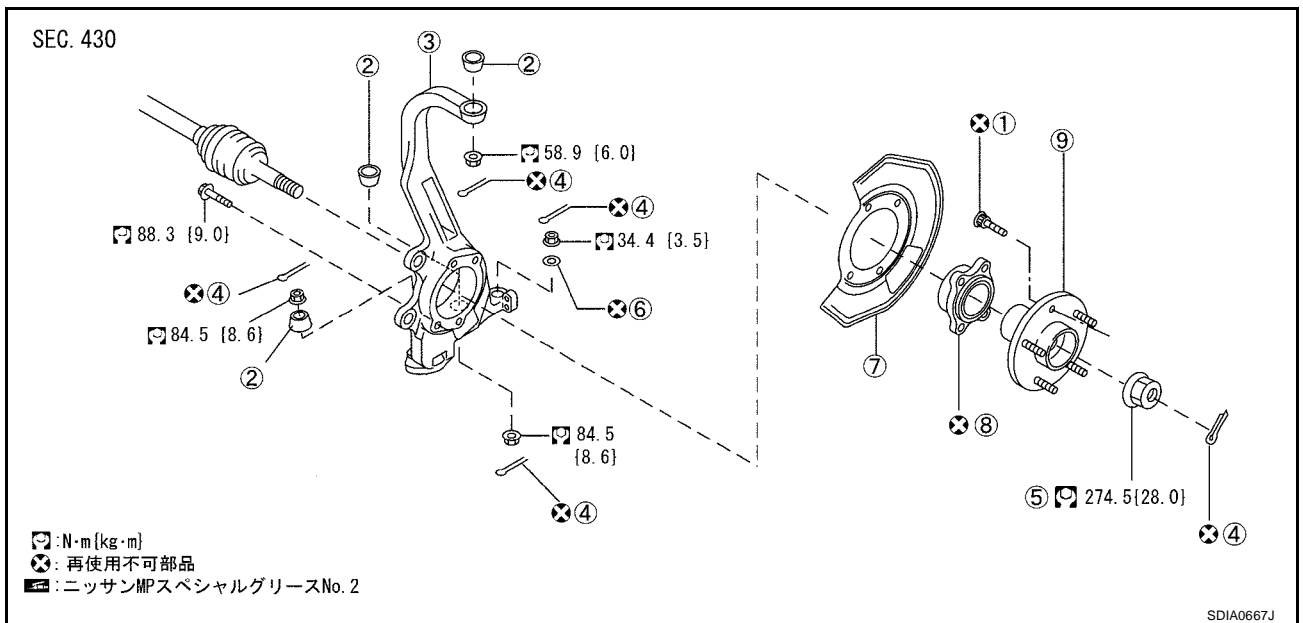
- ホイールハブを手で軸方向に動かし、フロントホイールベアリングにガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー : 0 ~ 0.05mm

- ホイールハブを回転させて異音等がないかを点検する。異常がある場合は、ホイールベアリング ASSY を交換する。

取り外し、取り付け

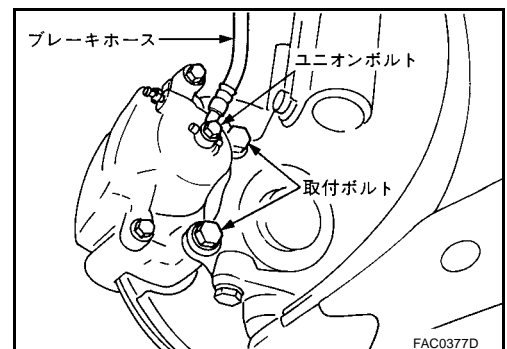
JDS0021Q



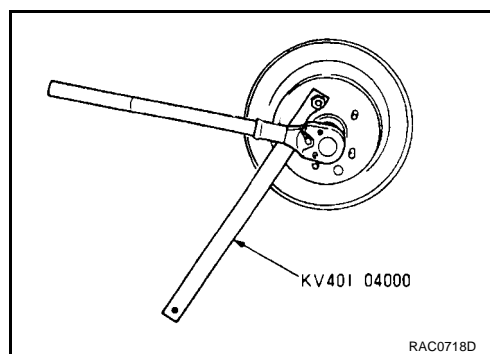
- | | | |
|--------------|--------------------|--------------------|
| 1. ハブボルト | 2. ボールシート | 3. ナックルステアリング ASSY |
| 4. コッターピン | 5. ホイールベアリングロックナット | 6. ワッシャー |
| 7. スプラッシュガード | 8. ホイールベアリング | 9. ホイールハブ ASSY |

取り外し

1. タイヤを取り外す。
2. アンダーカバーを取り外す。
3. ブレーキキャリパーを取り外し、ブレーキキャリパーをじゃまにならない所へ吊るしておく。
注意: ブレーキキャリパーを外している間は、ブレーキペダルを踏まないこと。
4. ABS 回転センサー及びブレーキホースをナックルステアリング ASSY より取り外す。
注意: ABS 回転センサーのハーネスを引っ張らないこと。



5. コッターピンを取り外し、ハブロックナットレンチ (特殊工具) を用いて、ホイールベアリングロックナットを取り外す。
6. ディスクローターを取り外す。
7. アウターソケットボールジョイント部のコッターピンを外し、アウターソケットのロックナットを取り外す。
8. ボールジョイントトリムバー (汎用工具) を用いて、ボールジョイントのブーツを破かないようにアウターソケットをナックルステアリング ASSY から取り外す。



注意: ボールジョイントトリムバー (汎用工具) が急激に外れる恐れがあるのでロックナットを仮付けしておくこと。

9. アッパーリンク、トランスバースリンク及びコンプレッションロッドとナックルステアリング ASSY との締結ナット及びコッターピンを取り外す。
 10. ボールジョイントトリムバー (汎用工具) を用いて、ボールジョイントのブーツを破かないようにアッパーリンク、トランスバースリンク及びコンプレッションロッドをナックルステアリング ASSY から取り外す。
- 注意:** ボールジョイントトリムバー (汎用工具) が急激に外れる恐れがあるのでロックナットを仮付けしておくこと。

11. ハブベアリングボルトを緩める。
12. ハブベアリング ASSY をナックルステアリング ASSY から取り外す。

取り外し後の点検

目視点検

トランスバースリンク及びブッシュに、変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合はトランスバースリンク ASSY で交換する。

ボールジョイントの点検

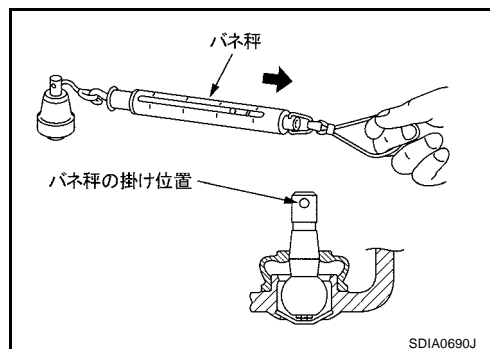
注意: 測定前に 10 回以上手で動かし、ボールジョイントをなじませてから行うこと。

よう動トルク点検

- バネ秤をコッターピン取付穴に掛け、ボールスタッドが動き始めたときのバネ秤の測定値が基準値内にあるか点検する。

よう動トルク : 0.147 ~ 1.40N·m { 0.02 ~ 0.14kg·m 以下 }
 バネ秤の測定値 : 2.23 ~ 21.2N { 0.23 ~ 2.10kg 以下 }

- 基準値を外れる場合は、ナックルステアリング ASSY を交換する。

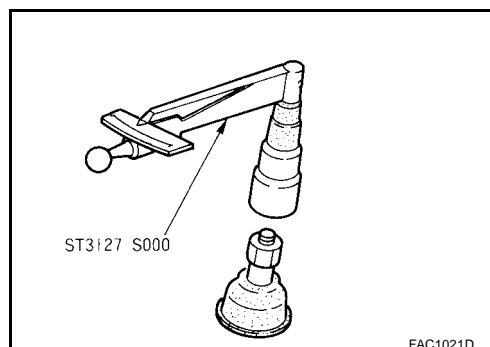


しゅう動トルク点検

- 取付ナットをボールスタッドに取り付け、プリロードゲージ (特殊工具) を用いて、しゅう動トルクが基準値内にあるか測定する。

しゅう動トルク : 0.147 ~ 1.40N·m { 0.02 ~ 0.14kg·m 以下 }

- 基準値を外れる場合は、ナックルステアリング ASSY を交換する。



軸方向エンドプレー点検

- ボールジョイントの先端を軸方向に押し、ガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー : 0mm

- ガタがある場合は、ナックルステアリング ASSY を交換する。

取り付け

- 各締付トルク等については構成図「[取り外し、取り付け](#)」(FAX-9 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

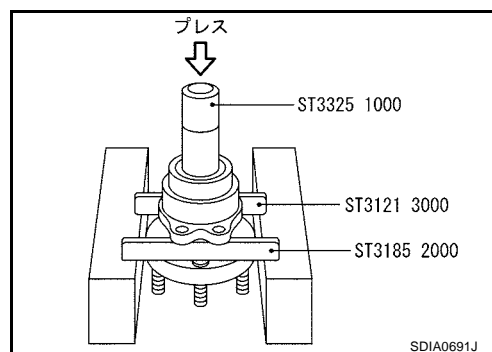
注意: 構成図を参照し、再使用不可部品は再使用しないこと。

分解、組み立て

JDS0021R

分解

1. 図のようにプーラー（汎用工具）、ドリフト（特殊工具）及びベアリングリプラー（汎用工具）を用いて、ホイールベアリングアウター側インナーレースを取り外す。



分解後の点検

ホイールハブ

- ホイールハブ ASSY 及びホイールベアリングにき裂（染色探傷法などで確認）、損傷がないか点検し、異常がある場合は交換する。

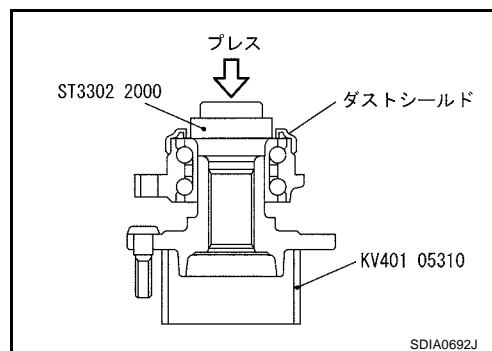
ナックルステアリング ASSY

- ナックルステアリング ASSY に変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

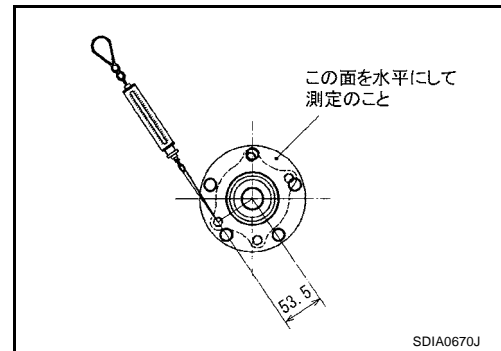
組み立て

1. 図のようにドリフト（特殊工具）を用いて、ホイールベアリングをホイールハブ ASSY に圧入する。

- 注意:**
- ホイールベアリングは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
 - ホイールハブのみの作業であっても、ホイールベアリングを交換すること。
 - 圧入時にホイールベアリングのダストシールドを変形させないようにすること。



2. 図の状態で 49033N { 5001kgf } の荷重をかけ、正逆方向になじみ回転を各 10 回行う。



3. 回転速度 10 ± 2 rpm にてホイールベアリングフランジ部ねじ穴にバネ秤をかけ、回転トルクを測定する。「サービスデータ」[「ホイールベアリング」\(FAX-20 ページ\)](#)を参照すること。

回転トルク : 2.296 N·m (0.23kgf·m) 以下

バネ秤の測定値 : 42.9 N (4.4kgf) 以下

参考：49033N { 5001kgf } の荷重をかけられない場合

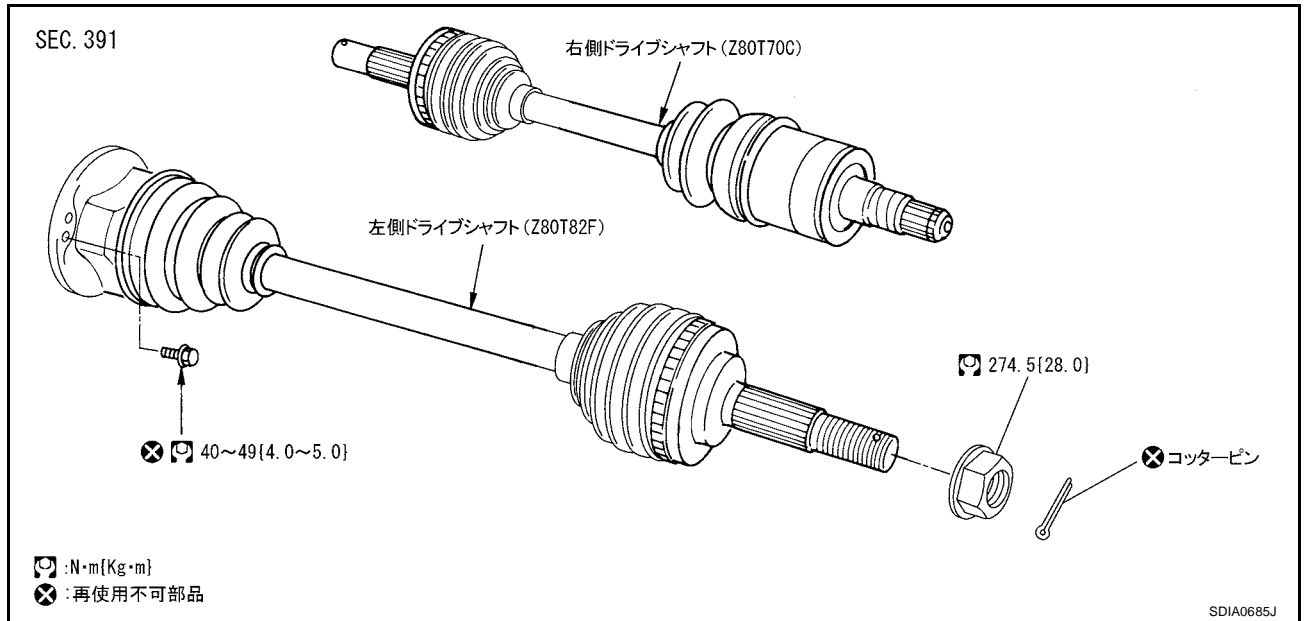
- ドライブシャフトを組み付けホイールハブロックナットを規定トルクで締め付け、正逆方向になじみ回転各 10 回行う。
 - 基準値を外れる場合は、ホイールベアリングを交換する。
4. 軸方向にガタがないか点検する。
5. スプラッシュガード及びホイールベアリングをナックルステアリング ASSY に取り付ける。

フロントドライブシャフト

PF:39100

取り外し、取り付け

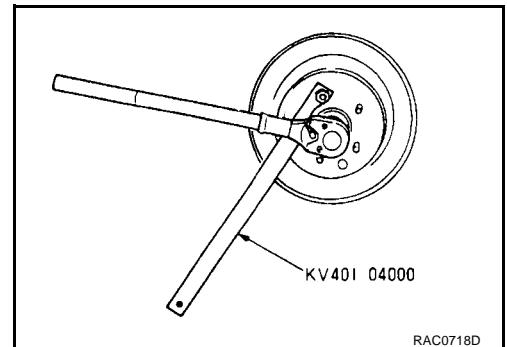
JDS002DB



取り外し

左側

1. タイヤを取り外す。
2. コッターピンを取り外す。
3. ハブロックナットレンチ (特殊工具) を用いて、ロックナットを取り外す。
4. ABS 車輪回転センサーをストラット ASSY から取り外す。
5. ステアリングの OUTER ソケットを取り外す。
6. サイドシャフトとの取付部分を取り外す。(ボルト 6 本)
7. アッパーリンクのナットを取り外す。
8. ナックルステアリング ASSY を移動しながらシャフトを外し、車両より取り外す。

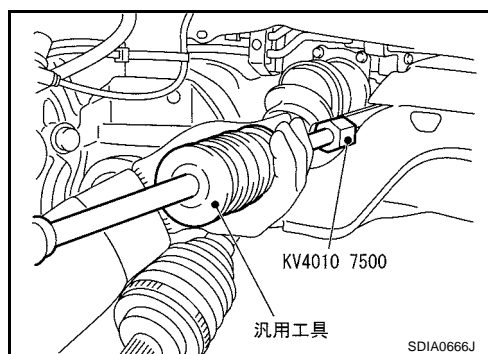


右側

1. タイヤを取り外す。
2. コッターピンを取り外す。
3. ハブロックナットレンチ (特殊工具) を用いて、ロックナットを取り外す。
4. ABS 車輪回転センサーをストラット ASSY から取り外す。
5. ステアリングの OUTER ソケットを取り外す。
6. アッパーリンクのナットを取り外す。

7. ナックルステアリング ASSY を下に移動しながらドライブシャフトを取り外す。(ホイール側)
8. ドライブシャフトを車両より抜き取る。(ファイナルドライブ側)

注意: 車両よりドライブシャフトを取り外す際は、ブレーキホース及び ABS 車輪回転センサーのハーネスなどに干渉させないように行うこと。



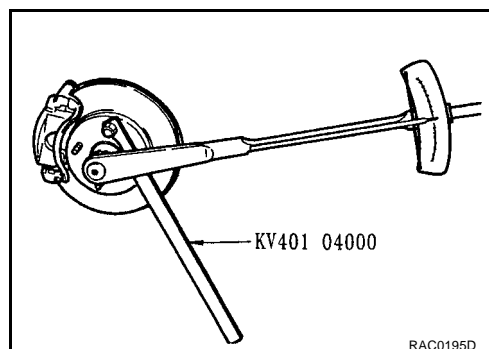
- 図のようにドライブシャフト (スライドジョイント側) とファイナルドライブの間に 4WD 用 FD 脱着アタッチメント (特殊工具) とドライブシャフトプラー (汎用工具) をセットし取り外すこと。
- 右側ドライブシャフトを取り外した場合は、先端部にサークリップが付いていることを確認すること。
- 左側ドライブシャフトは取付ボルトを取り外し、サイドシャフトより取り外す。

取り付け

左側

1. ドライブシャフトをストラット ASSY に挿入し、ロックナットを仮締めする。
2. ドライブシャフトをサイドシャフトに取り付け、規定トルクで締め付ける。
3. ナックルステアリング ASSY のアウターソケット及びトランスバースリンク取付ボルトをストラット ASSY に取り付け、規定トルクで締め付ける。
4. ABS 車輪回転センサーをストラット ASSY に取り付ける。
5. ハブロックナットレンチ (特殊工具) を用いて、ロックナットを規定トルクで締め付ける。

注意: コッターピンは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



右側

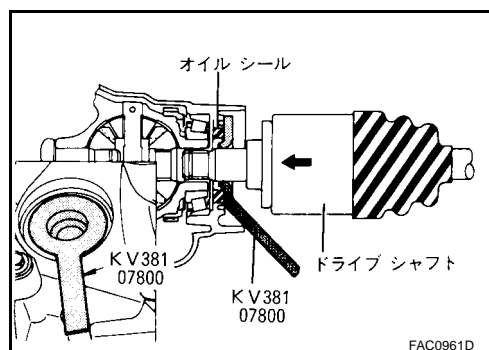
1. ファイナルドライブのオイルシール損傷防止のため、オイルシール部にプロテクター (特殊工具) を取り付けてからドライブシャフトをフロントファイナルドライブに挿入し、ドライブシャフトのセレーション部をスライドさせ、ハンマーリングの要領で確実に取り付ける。

注意: サークリップが確実に結合したことを確認すること。

2. ドライブシャフトを右側ストラット ASSY に挿入し、ロックナットを仮締めする。
3. ナックルステアリング ASSY のアウターソケット及びトランスバースリンク取付ボルトをストラット ASSY に取り付け、規定トルクで締め付ける。
4. ABS 車輪回転センサーをストラット ASSY に取り付ける。
5. ハブロックナットレンチを用いて、ロックナットを規定トルクで締め付ける。

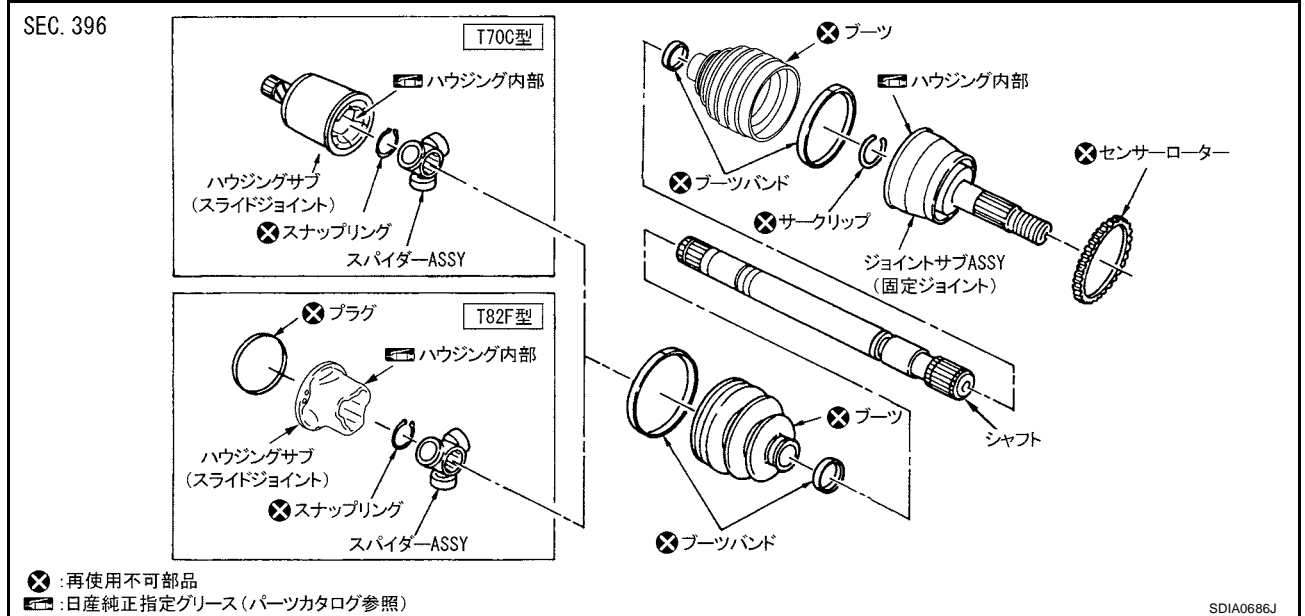
注意: コッターピンは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

6. タイヤを取り付ける。



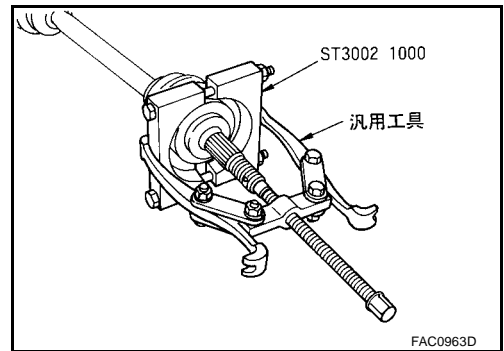
分解、組み立て

JDS002DC



分解前点検

- ジョイント部を上下、左右、軸方向に動かし、不円滑な作動、著しいガタがないことを点検する。
- ブーツのき裂、損傷およびグリース漏れがないことを点検する。



ホイール側

1. 図のようにベアリングプーラー (汎用工具) 及びプーラー (汎用工具) を用いて、センサーローターをドライブシャフトより取り外す。

2. シャフトを万力で固定する。

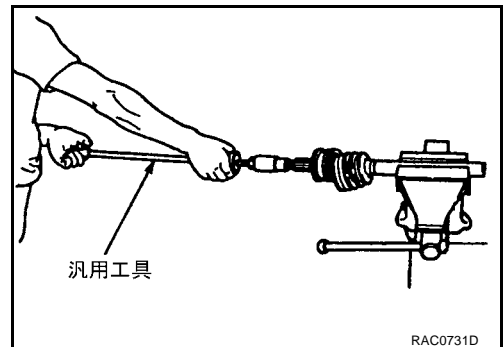
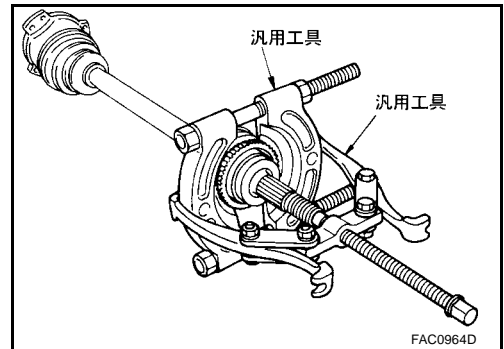
注意: 万力で固定する場合は、銅板、アルミ板などを介して固定すること。

3. ブーツバンドを外し、ブーツをジョイントサブ ASSY より取り外す。

4. ドライブシャフトプーラー (汎用工具) をジョイントサブ ASSY のネジ部に 30mm 以上ねじ込み、ジョイントサブ ASSY をシャフトより抜き取る。

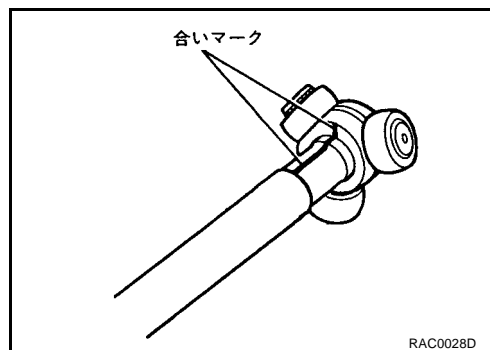
注意: ジョイントサブ ASSY の抜き取り作業を 5 回以上行って外れない場合は、ドライブシャフト ASSY で交換すること。

5. ブーツをシャフトより取り外す。
6. サークリップをシャフトより取り外す。
7. 古いグリースを除去する。



ファイナルドライブ側

1. ブーツバンドを取り外す。



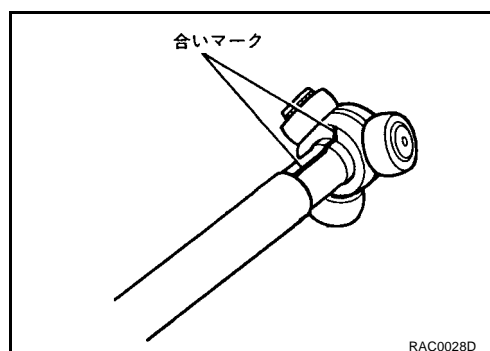
2. シャフトを万力で固定する。

注意: 万力で固定する場合は、銅板、アルミ板などを介して固定すること。

3. シャフトとスパイダー ASSY に合いマークを付ける。

注意: 合いマークはペイントなどを使用し、傷は付けないこと。

4. スナップリングを取り外し、スパイダー ASSY をシャフトから抜き取る。



5. ブーツをシャフトから取り外す。

点検

シャフト

• シャフト部に目視による振れ、き裂及び損傷があればシャフトを交換する。

ブーツ及びブーツバンド

• ブーツ及びブーツバンドは、一度外したら新品と交換する。

ジョイントサブ ASSY (固定ジョイント側)

- ジョイントの回転具合、軸方向の異常なガタがないか。
- ジョイント内部の異物混入がないか。

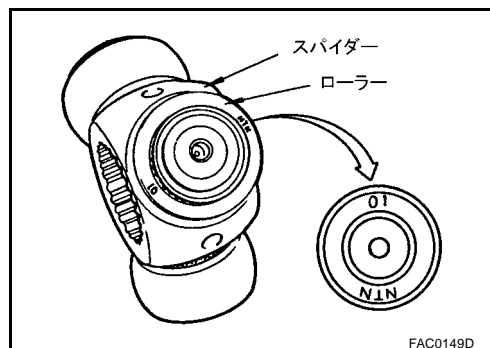
注意: ジョイントサブ ASSY の構成部品に異常がある場合、ジョイントサブ ASSY で交換すること。

スライドジョイント

•ハウジングのローラー接触面に傷、摩耗がある場合、スパイダー ASSY のローラー面に傷、摩耗がある場合は、ハウジング及びスパイダー ASSY を交換する。

参考: ハウジング交換の際、セット部品としてスパイダー ASSY が含まれている。

- スパイダーのローラーに円周方向のガタ、回転ムラがある場合はスパイダー ASSY を交換する。
- スパイダー ASSY の交換は、図のようにローラーに打刻された刻印番号と同じ部品を下記から選択し、組み付ける。



刻印番号	部品番号	型式
01	39720 51E00	T70C
02	39720 51E01	
03	39720 51E02	
04	39720 51E03	

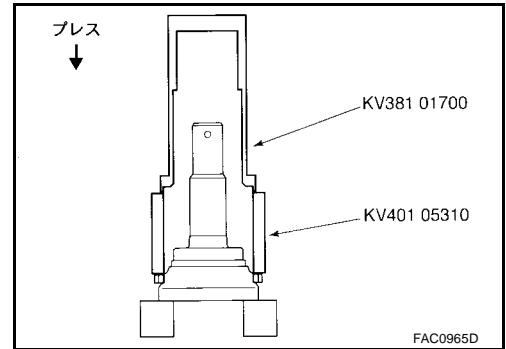
刻印番号	部品番号	型式
00	39720 10V10	T82F
01	39720 10V11	
02	39720 10V12	

組み立て

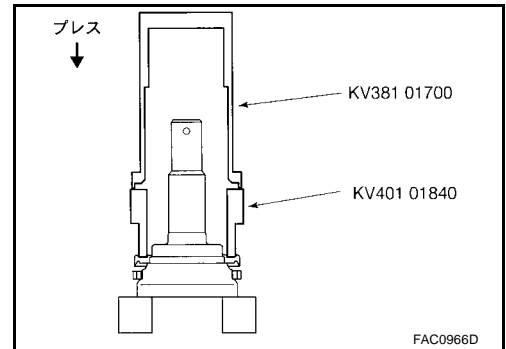
ホイール側

- ドリフト(特殊工具)を用いて、ジョイントサブ ASSY にセンサーローターを圧入する。

注意: センターローターは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

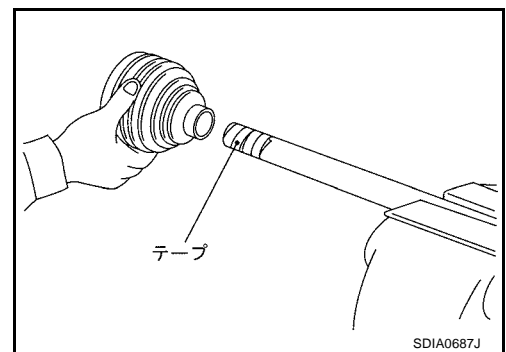


- ドリフト(特殊工具)を用いて、ジョイントサブ ASSY にダストシールドを圧入する。



- ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、ブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。

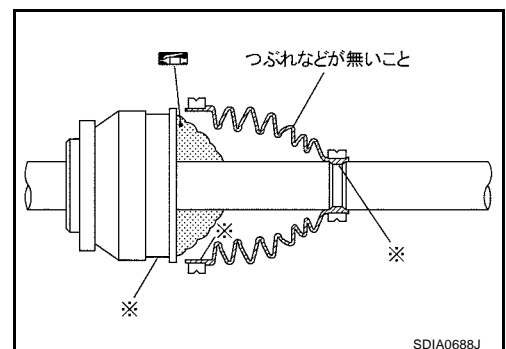
注意: ブーツバンド及びブーツは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



- シャフトのセレーション部に巻いたテープを外す。

- シャフトにサークリップを取り付け、サークリップがシャフト溝部に確実に入っていることを確認し、ジョイントサブ ASSY にナットを付け、木ハンマーなどでシャフトに圧入する。

注意: サークリップは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



- ブーツの大径側からジョイントサブ ASSY 内に日産純正指定グリス(パーツカタログ参照)を充てんする。

グリス量 : 71 ~ 81g

7. ブーツを図の溝部 (部) へ確実に取り付ける。

注意: ジョイントサブ ASSY のブーツ取付面 (部) にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがあるので、付着したグリースは除去すること。

8. ブーツの長さ (L) が下記寸法であることを確認し、小径側からマイナスドライバーなどを差し込み、ブーツ内の圧力を調整し、ブーツの変形を防止する。

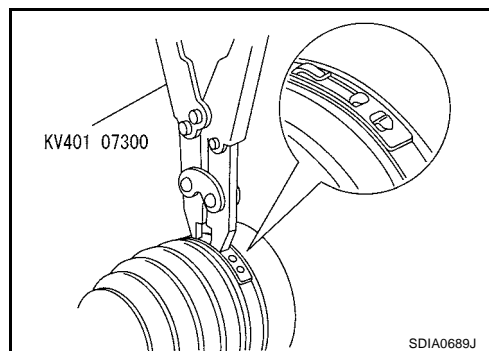
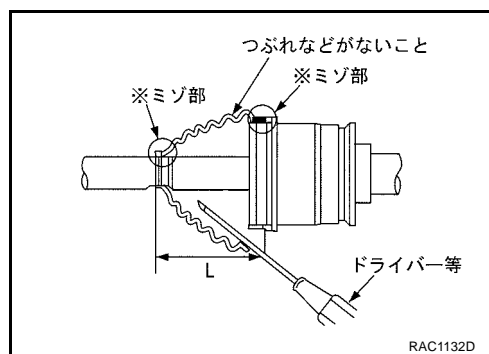
ブーツ取付長さ : 90.4mm

注意: ・ ブーツ取付長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。

・ ドライバーの先端がブーツ内面にあたらないように注意すること。

・ ブーツの大径側及び小径側を図のように新品のブーツバンドで固定する。

・ ブーツの取付状態を確認する。ジョイントサブ ASSY を回し、ブーツの取付位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再度組み付けする。



ファイナルドライブ側

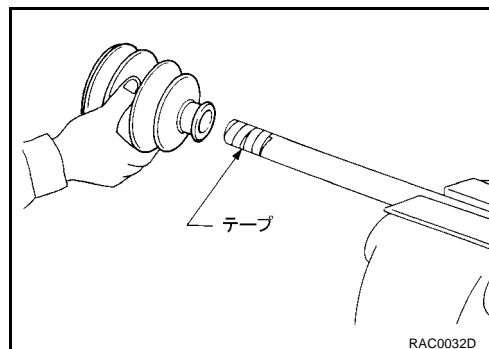
1. T82F 型ドライブシャフトでプラグを取り外した場合は、プラグを取り付ける。

注意: プラグは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

2. シャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、ブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。

注意: ブーツバンド及びブーツは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

3. シャフトのセレーション部に巻いたテープを外す。



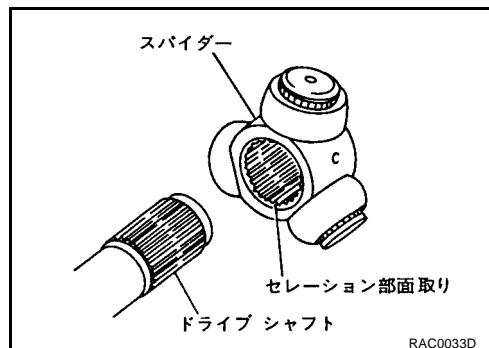
4. スパイダー ASSY を取り外したときにつけた合いマークに合わせ、セレーション部の面取りがホイール側になるように取り付ける。

5. スパイダー ASSY をスナッピングで固定する。

注意: スナッピングは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

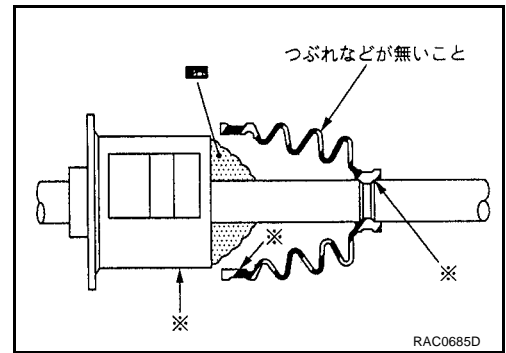
6. 日産純正指定グリース (パーツカタログ参照) をスパイダー ASSY 及びしゅう動部に塗布する。

7.ハウジング (T82F 型) 又はハウジングサブ (T70C 型) にシャフトを挿入する。



8. スライドジョイントハウジングをスパイダーASSYに組み付け、残りのグリースを下記容量まで充てんする。

グリース量	T70C	: 110 ~ 120g
	T82F	: 95 ~ 105g



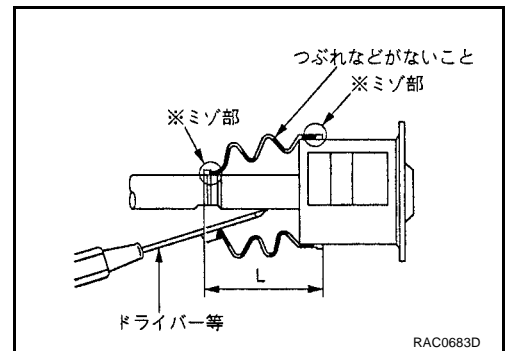
9. ブーツを図の溝部 (部) へ確実に取り付ける。

注意: ジョイントのブーツ取付面 (部) にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがあるので、付着したグリースは除去すること。

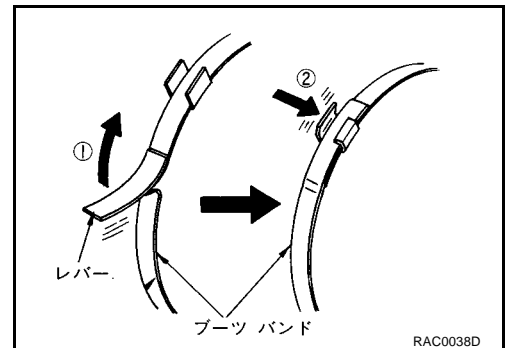
10. ブーツの長さ (L) が下記寸法であることを確認し、小径側からマイナスドライバーなどを差し込み、ブーツ内のエアを抜き、ブーツの変形を防止する。

ブーツ取付長さ (L)	T70C	: 95.5 ~ 97.5mm
	T82F	: 95 ~ 97mm

- 注意:**
- ブーツ取付長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。
 - ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意すること。



- ブーツの大径側及び小径側を図のようにブーツバンドで固定する。
- ブーツの取付状態を確認する。ハウジング (T82F 型) 又はハウジングサブ ASSY (T70C 型) を回し、ブーツの取付位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再度組み付けする。



サービスデータ
ホイールベアリング

PFP:00030

JDS002IS

取付部位	フロントアクスル
駆動方式	4WD
回転トルク	2.296N・m { 0.23kg・m }
バネ秤の測定値	42.9N { 4.4kg }
バネ秤取付位置	ホイールベアリングフランジ部ねじ穴
軸方向エンドプレー	0 ~ 0.05mm

ボールジョイント

JDS002IT

取付位置	ナックルステアリング ASSY
よう動トルク	0.147 ~ 1.4N・m { 0.02 ~ 0.14kg・m }
バネ秤の測定値 (コッターピン穴位置)	2.23 ~ 21.2N { 0.23 ~ 2.10kg }
しゅう動トルク	0.147 ~ 1.4N・m { 0.02 ~ 0.14kg・m }
軸方向エンドプレー	0mm

ドライブシャフト (Z80T70C)

JDS002IU

ジョイントタイプ	ファイナルドライブ側	T70C	
	ホイール側	Z80	
グリース量	ファイナルドライブ側	110 ~ 120g	
	ホイール側	71 ~ 81g	
ブーツ取付長さ	ファイナルドライブ側	95.5 ~ 97.5mm	
	ホイール側	90.4mm	
ファイナルドライブ側スパイダー アッセンプリー	刻印番号	部品番号	型式
	00	39720 51E00	T70C
	01	39720 51E01	
	02	39720 51E02	
	03	39720 51E03	

ドライブシャフト (Z80T82F)

JDS002IV

ジョイントタイプ	ファイナルドライブ側	T82F	
	ホイール側	Z80	
グリース量	ファイナルドライブ側	95 ~ 105g	
	ホイール側	71 ~ 81g	
ブーツ取付長さ	ファイナルドライブ側	95 ~ 97mm	
	ホイール側	90.4mm	
ファイナルドライブ側スパイダー アッセンプリー	刻印番号	部品番号	型式
	00	39720 10V10	T82F
	01	39720 10V11	
	02	39720 10V12	

締付トルク

JDS002IW

ドライブシフト~サイドシャフト (4WD 左側)	40 ~ 49N・m { 4.0 ~ 5.0kg・m }
ドライブシャフトナット	274.5N・m { 28.0kg・m }